News Release

香川大学
Kagawa University

令和２年１月１０日

「海洋科学の未来と減災科学シンポジウム」を開催します。

この度、本学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構（以下「当機構」という。）は、我々に多大な恵みをもたらすとともに、甚大な災いをもたらし得る「海洋」に焦点を当て、学内外の研究者の発表を通して海洋科学の未来像と減災科学の展望について議論する標記シンポジウムを初めて開催します。

本シンポジウムでは、学内外の研究者による海洋環境（海プラ、水圏も含む）、海洋底ダイナミックスならびに地震・津波、台風・高潮に関する海洋科学の研究発表の後、当機構の地域強靭化研究センター長・金田義行特任教授による基調講演を予定しています。

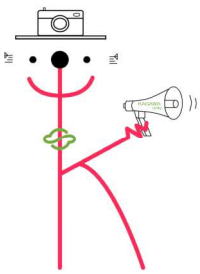
記

１．日　時　　令和２年１月２１日（火）　１０：３０～１６：４０（開場１０：００）

２．会　場　　香川大学幸町キャンパス　オリーブスクエア２階　多目的ホール
（高松市幸町１－１）

３．次　第　　別添の資料をご参照ください。

４．主　催　　香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
協　力　　国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所



➢ お問い合わせ先
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
地域強靭化研究センター　副センター長　　藤澤
TEL：087-832-1651
E-mail：fujisawa@cc.kagawa-u.ac.jp

香川大学
KAGAWA UNIVERSITY

海洋科学の未来と減災科学シンポジウム

令和2年 **1/21(火)** 10:30~16:40
(開場 10:00)

香川大学 幸町キャンパス
OLIVE SQUARE 多目的ホール
(香川県高松市幸町1-1)

■ はじめに (10:30~10:40)
香川大学長　筧 善行

■ セッション1 (10:40~12:00)
四国からの情報発信　座長：長谷川修一(香川大学)

香川大学	末永 慶寛
香川大学	白木 渡
徳島大学	馬場 俊孝 氏
愛媛大学	亀山 真典 氏

■ セッション2 (13:00~14:20)
海洋科学・技術の未来像　座長：白木渡(香川大学)

海洋研究開発機構	小平 秀一 氏
香川大学	石丸 伊知郎
香川大学	寺尾 徹
海洋研究開発機構	川口 勝義 氏

■ セッション3 (14:30~15:35)
減災科学　座長：金田義行(香川大学)

海洋研究開発機構	堀 高峰 氏
中央大学	有川 太郎 氏
防災科学技術研究所	青井 真 氏

■ 基調講演・全体討論 (15:45~16:30)
「恵みの海との共存術」
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 特任教授
副機構長、地域強靭化研究センター長、学長特別補佐
金田 義行

プロフィール

博士(理学)。専門は地震学。南海トラフ巨大地震研究、地下構造研究、シミュレーション研究、リアルタイムモニタリング研究、減災科学研究に取り組む。減災科学の推進と社会に貢献した功績が認められ、平成30年防災功労者内閣総理大臣表彰、第12回海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)を受賞した。著書に「先端巨大科学で探る地球」(共著、東京大学出版会、2008)、「地球と生きる」(冨山房インターナショナル、2017)など。

■ 閉会挨拶 (16:30~16:40)
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長
吉田 秀典

主催／香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
協力／国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所

海洋科学の未来と減災科学シンポジウム

Future of Marine Science and Disaster Mitigation Science

海洋は奇跡の星・地球のエンジンであり、「恵の海」とも称されるように、我々は非常に多くの恩恵を享受している。しかし一方で、地震や津波を発生させるリスクが常に内在しており、時として我々の生命を脅かす大きな脅威になりうる。ここでは、海洋環境（海プラ、水圏も含む）、海洋底ダイナミックスならびに地震津波、台風／高潮に関する海洋科学の未来像と減災科学の展望について議論する。

10:30～10:40	**はじめに**	香川大学長　筧 善行
10:40 ～ 12:00	**セッション1　四国からの情報発信**　座長：長谷川 修一（香川大学） ・豊かな海の創造 香川大学 創造工学部長 教授、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 併任 末永　慶寛 ・四国の強靭化に向けて 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 危機管理先端教育研究センター長 白木　渡 ・JAGURS：高性能津波計算ソフトウェアの開発 徳島大学大学院 社会産業理工学部 社会基盤デザイン系 教授 馬場　俊孝 氏 ・マントル対流とプレート沈み込みのダイナミクス 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター 教授 亀山　真典 氏 ・質疑応答	
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00 ～ 14:20	**セッション2　海洋科学・技術の未来像**　座長：白木 渡（香川大学） ・海から観る地震と火山 国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門長 小平　秀一 氏 ・広域分光イメージングによる海洋環境計測 香川大学 創造工学部 教授 石丸　伊知郎 ・温暖化に伴い激甚化する気象災害 香川大学 教育学部 教授、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 併任 寺尾　徹 ・海中海底観測の未来像 国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 技術開発部長 川口　勝義 氏 ・質疑応答	
14:20～14:30	休憩	
14:30 ～ 15:35	**セッション3　減災科学**　座長：金田 義行（香川大学） ・大地震への準備の把握と予測に向けて 国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター長 堀　高峰 氏 ・沿岸域のまちづくりにおける海域予測の重要性 中央大学 理工学部 都市環境学科 教授 有川　太郎 氏 ・陸海統合地震津波火山観測網（MOWLAS）のデータ利活用 国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター長 青井　真 氏 ・質疑応答	
15:35～15:45	休憩	
15:45 ～ 16:30	**基調講演「恵みの海との共存術」・全体討論** 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靭化研究センター長 金田　義行	
16:30～16:40	**閉会挨拶**　香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長　吉田 秀典	

交通アクセス

JR高松駅から

◇『ことでんバス（まちなかループバス）』で「香川大学教育学部前」または「香川大学法学部・経済学部前」下車。徒歩１分。

◇車で約5分。

高松空港から

◇『高松空港リムジンバス』で「中新町」または「県庁通り」下車。徒歩10～15分。

◇車で約30分。

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ・お申込み

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

〒761-0396

香川県高松市林町2217-20

TEL：087-864-2544

FAX：087-864-2549

E-mail：kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

参加申込書　〆切　令和2年1月14日（火）　※当日参加も可能です

	ご所属	ご芳名	電話番号	E-mail
1				
2				
3				
4				

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いします。
ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウムでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。